

社団法人 建設荷役車両安全技術協会 考案賞

H18 銀賞	考案の名称	オイル受け皿の改善	支部名	愛知県支部
			会員名	トヨタL&F)中部(株)

考案の動機

フォークリフトのトランスミッション及びデフレンシャルのオイル交換を行うときはオイル受け皿をフォークリフトのトランスミッション等の下に入れドレンプラグから排出した古いオイルを一旦オイル受け皿に回収してその後廃油缶に集め処分している。カーリフト等の設備がある場所ではフォークリフトを持ち上げてオイル交換が出来るので問題は無いが、設備のない場所でのオイル交換はオイル受け皿を入れる地上高が約80mm(最大積載荷重1トンから2トン)と低く、市販のオイル受け皿(地上高さ80mm以上)をそのまま使うことが出来なかった。従って、可搬式のジャッキを使いフォークリフトを持ち上げて作業していた。この場合、オイルをドレンしたときオイルの飛び散り、廃油缶に移すときのごぼれまたは飛び散りにより床に油が飛散して足を滑らす危険性もあった。今までの経験を基にフォークリフトのオイル交換に適したオイル受け皿の考案を思いついた。



考案の内容

ドレンしたオイルを1回で回収できる容量と、扱いやすい重量を考え厚さ2mmの鉄板を使い外径寸法は530mm×380mm×80mmとして受け皿重量は8Kg、容量は12Lとした。

- ① オイル受け皿を移動させるとき、油こぼれを防ぐ為に、持ち運びを容易にする取っ手を取り付けた。
- ② オイル受け皿を傾けたときのごぼれを防ぎ、またオールドレン時のオイルの飛び出しを防ぐため、オイル受け皿上部に幅10mmの庇を取付け図のような形状とした。
- ③ 回収したオイルを廃油缶に移すときオイルがこぼれないように、オイル受け皿の半分に上プレートを取付、また注ぎ口も設けた。
- ④ サービスカー(工具などを積載している車)の荷台スペースを節約するため縦置きにしてもオイル受け皿に残っているオイルがこぼれでないように幅50mmのプレートを図のように取り付けた。

